

萬世大路

東北中央自動車道
(福島～米沢北) 通信

第37号 平成25年8月 発行

工事紹介 ぱーと30

◆米沢IC道路改良工事

受注者:(株)後藤組

工期:H25年3月～H25年10月



ちょっと特殊な 盛土の工法!

この現場では、万世高架橋(仮称)の橋台背面盛土として、FCB工法を採用しています。橋台の背面には、通常土が盛られ橋を支えています。橋台に強い土の圧力がかかることから、大きな橋台が必要となります。

今回使用するFCB工法は、気泡混合軽量土(エアミルク)を使った盛土工法で、セメントに空気を混ぜ合わせた非常に軽い盛土材を使うことで、橋台にかかる圧力が軽減されます。そのため、橋台の高さを1.8mで抑えることができ、大規模な橋台を造ることなく橋を支えています。

橋台の背面の様子



盛土材を流し込む前

前



盛土材を流し込んだ後

後



橋台の横からの様子

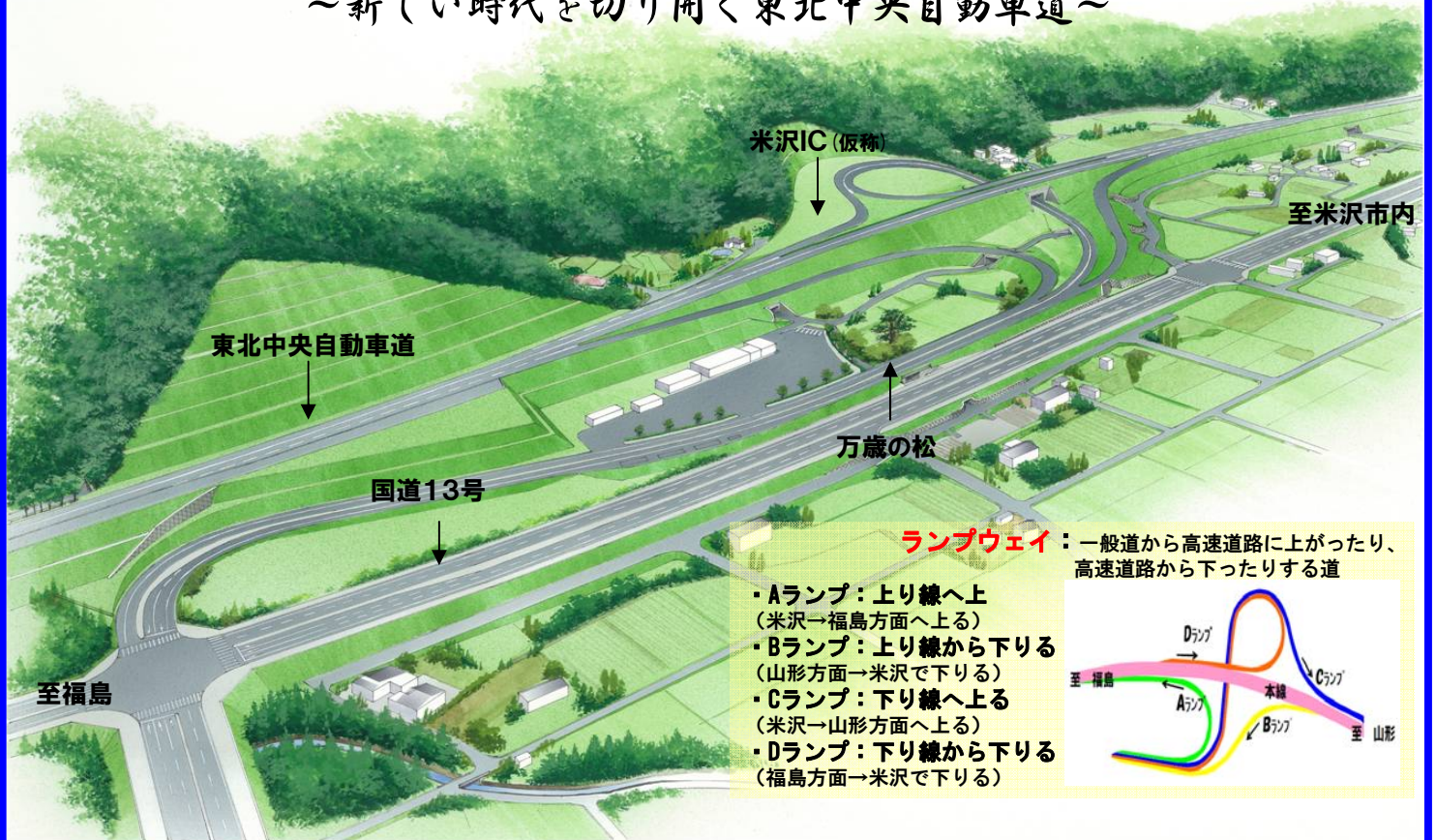


毎日暑い中、作業お疲れ様です。これから暑い日が続きますが、お体に気を付けて頑張ってください。



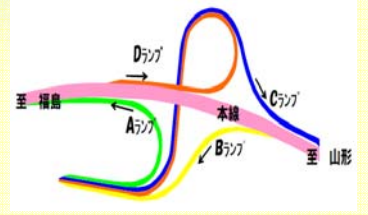
米沢インターチェンジの未来予想図

～新しい時代を切り開く東北中央自動車道～



ランプウェイ：一般道から高速道路に上がったり、高速道路から下ったりする道

- ・Aランプ：上り線へ上
(米沢→福島方面へ上る)
- ・Bランプ：上り線から下りる
(山形方面→米沢で下りる)
- ・Cランプ：下り線へ上る
(米沢→山形方面へ上る)
- ・Dランプ：下り線から下りる
(福島方面→米沢で下りる)



米沢市万世町のシンボル ～万歳の松～

樹 齢：推定約200年
樹 高：約13m
枝張り：約20m



平成21年3月：山形県景観重要樹木第1号に指定
平成22年4月：米沢市景観重要樹木第1号に指定

松は、旧万世小学校の校庭にあったもので、明治14年に明治天皇が東北御巡幸の際に休憩された場所として、明治22年にこの地を永く後世に伝えるため、記念樹として青松一株が植えられました。将来は、東北中央自動車道(仮)米沢ICのランプのすぐ脇に位置します。今後も、たくさんの方に愛される「万歳の松」となることと思います。

思い出を重ねてきた建物 ～旧万世小学校～



昭和32年に建てられ改築などを重ね、昭和60年に廃校



旧万世小学校は、4棟あったうち南西側の1棟が現在残っています。昨年10月まで市の埋蔵文化財史料室として使用されていました。

東北中央自動車道(仮)米沢IC建設に伴い、今年秋頃に取り壊され、校舎跡は公園に変わる計画です。



ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL：0238-37-5570 FAX：0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

